

## 【札幌市の防災対策】

市では、阪神・淡路大震災を契機に、最大震度6強の直下型地震を想定した「札幌市地域防災計画」を策定し、地震防災対策を進めています。

しかし、直近の調査結果に基づき直下型地震を引き起こす断層を設定、その被害を想定した「第3次地震被害想定（昨年9月公表）」では、最大震度7が想定され、6強以上の強い揺れが起きる範囲も従来の想定との3.4倍（170平方キロメートル）となり、被害が大幅に拡大することが分かりました。

今後、市は地域防災計画を見直し、被害想定に対応した防災対策を進める予定です。

## 【防災対策は家庭から】

大規模災害時は、火災や建物の倒壊により交通や通信手段が遮断され、行政機関による救援や救護が行えない可能性があります。また、食料も災害発生当初は十分に確保されないことが考えられます。

こうした事態に備え、日ごろ、家庭内で話し合いや準備をすることが重要です。「防災週間」を機会に災害への備えを見直しましょう。

## 地震に備える

### ◆非常時持ち出し品を準備する

#### 救急セット



#### 衣類

下着類やタオル、防寒着など

#### 貴重品

印鑑・預金通帳・保険証・現金など

#### 飲料水



#### 食料



このほかにも…  
懐中電灯・ラジオ・防寒シート・ごみ袋・ナイフ・ライター・生理用品・おむつなど

災害時は、輸送活動に大きな支障が生じるため、十分に食料が確保されないことが予想されます。3日分程度の食料や水（1日3リットル）を備蓄しましょう。

なお、市では、災害発生後24時間に避難場所に集まる避難者分として約17万6千食を備蓄しています。

市民防災センターでは、防災グッズを販売しています。詳しくは全市版20ページをご覧ください。

### ◆家族で話し合う



災害が起こった場合に備えて、家族での連絡方法や集合場所、避難場所を事前に決めておきましょう！

### ◆家具などは固定する



家具などは、倒れてもドアなどをふさがないように配置し、固定しましょう。

### ◆情報を集める



↑左から洪水ハザードマップ、地震防災マップ、防災のしおり  
防災に関する冊子を区役所で配布しています。

【詳細】 区総務企画課地域安全担当  
☎861-2400内線480

### ◆災害時の対応方法を学ぶ



←防災訓練



↑簡易型災害図上訓練（DIG）

大規模災害の発生を想定して、被害が予測される場所などを参加者全員で大きな地図に記入し、避難経路や避難場所を把握し、防災対策を検討します。

町内会など地域団体では、地域の防災力の向上を図るため、防災訓練や「簡易型災害図上訓練」を実施しています。

なお、これらの活動は区も支援しています。

【詳細】 区総務企画課地域安全担当 ☎861-2400内線480

